

(差替)

第 124 回市議会（定例会）一般質問通告書

(令和 4 年 3 月 2・3 日)

順番	質問の内容		議席番号	氏名
	表題	具体的内容		
1. 会派に属さない議員		4名	12件	
立 憲 民 主 党				
	◎一問一答			
1	<p>1 より良い市民サービスを続けるために 東日本大震災発生以来、復興事業の多忙に加えて一昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大で市役所業務が増加や複雑化し、大きく変化しています。しかし、より良い公共サービスは、定年まで安心して働き続けられる職場環境があつてこそであるということが私の信条です。昨今、現職死亡や長期病休職員の顕在化の実態を仄聞した時、様々に懸念することを感じることから以下の点について尋ねます</p> <p>(1) 地方公務員法が規定している、職員の福利厚生事業の実施状況と、既に設置されている労働安全衛生委員会での、現職死亡等の問題意識の共有化や、委員会議論経過と対応策について示してください</p> <p>(2) 業務のIT化やDX化が推進されていますが、そのことで精神的ストレス等の実態はあるのか。また、あると認識しているのであればその対策について伺います</p> <p>(3) 行財政改革と職員定員管理計画は、業務実態とミスマッチを起こしていないのか。行政サービス提供体制や人材確保策を示してください</p> <p>(4) 新たな会計年度任用職員制度は、市民サービスへの影響はないのか。また、このことで市役所業務の人材育成は順調なのか伺います</p> <p>(5) 「できませんとは言いません」ポスター掲示が見当たらなくなっているが何処にいったのでしょうか</p> <p>(6) 公務員の定年延長が予定されていますが、本市としての対応策について伺います</p>		19	村 上 進
	<p>2 学校統合計画後の施設利活用策等について 最近公表された出生数では 213 人となり、少子高齢化が顕著な状況下で、様々な現行の社会制度に歪み</p>			

1	<p>が生じてきています。その一つが義務教育施設の存続と統合だと考えます。次年度施政方針でも、義務教育環境整備計画を加速化していくとなっております。その是非については、後の機会に譲りますが、既に統合された学校施設の利活用策等について、改めて以下の点について伺うものであります</p> <p>(1) 市有財産の適正管理と有効活用のため、公共施設等総合管理計画・個別施設計画の他、学校跡施設などの未利用財産は、公募等によって民間譲渡や貸し付けを図るとなっていますが、民間ノウハウを導入するなど具体的な手法を示してください</p> <p>(2) 学校統合説明会の内容と、学校跡施設利活用計画を同時に公表すべきと考えますがどうでしょうか</p> <p>3 墓所・墓地管理等について</p> <p>昭和 23 年に制定された「墓地、埋葬等に関する法律」が同年 6 月 1 日から施行されてきました。今日墓地等を取り巻く状況や、墓地の設置・管理は変遷してきています。市長は、埋葬や改葬及び火葬等の許認可者となっていますが、改めて、これからの墓地行政の在り方の検討の必要性について伺います</p>	19	村上進
公 明 党			
2	<p>◎一問一答</p> <p>1 働き方が変わる、協同が創る持続可能な地域づくりについて</p> <p>(1) 協同労働について</p> <p>協同労働とは、働く人が出資して組合員となり、それぞれの意見を反映させながら主体的に運営し、地域の多様な需要に応じながら、持続可能な地域社会づくりに向けて事業を行う働き方で、2020 年 12 月 4 日の臨時国会において全会一致で労働者協同組合法が成立し、同月 11 日に公布され、今年の 10 月 1 日施行予定です。以下について伺います</p> <p>① 法施行にあたって市の認識について</p> <p>② 庁内での学習会、検討会の立ち上げ、市民への周知・広報など、今後の取り組みについて</p> <p>③ 労働者協同組合法の目的に掲げられた「多様な就労機会の創出」と「持続可能で活力ある地域社会の実現」は、国・地方自治体の公共政策の基本に関わる内容で、昨年 2 月の国会質疑での政府答弁で「単なる周知だけではなく、いかにこの新たな</p>	10	村上進

2	<p>制度を地域社会の活性化の実現に繋げていくか、厚生労働省のみならず政府全体、そして地方自治体とも連携して取り組んでいきたい。」とありましたが、本市としての考えを伺います</p> <p>2 現在、学校統合の説明会が進められている小・中学生の保護者の声について</p> <p>(1) 登下校時の安全・安心について 昨年12月20日の「気仙沼市義務教育環境整備計画」に係る説明会での、「生徒のことを考えると統合は致し方ないが、問題は登下校の安全面が不安。国の基準でスクールバスが無理だ、ではなく、例えば、時間に間に合うようにバスを配置し、部活が終わったらバスで下校できるのが一番の望み。」との保護者の声もあり、他にも登下校時が心配との声を聞きます。以下について伺います</p> <p>① 登下校時における通学路の安全確保、及び災害・事故発生時の安全・安心の確保対策について</p> <p>② 現行行われている保護者の送迎の負担について</p> <p>③ 国の基準でスクールバス運行が不可ということではなく、国の基準を変えないでの他の運行方法の検討について</p>	10	村上進
日 本 共 産 党			
3	<p>◎一問一答</p> <p>1 市民要望について</p> <p>(1) 災害公営住宅の家賃低減延長について 家賃低減施策を5年延長しないのか</p> <p>(2) 障害児通所給付費について 費用負担は市施設と民間施設と同一水準にする条例改正をしないのか</p> <p>(3) 中山間地域等直接支払いについて 多面的機能保全を持つ棚田には水路組合を分断する施策は得策ではないと考えるがいかがか</p> <p>(4) 徳仙丈山の森林センター代替施設建設について 火災消失から4年、代替施設の建設目途を示せ</p> <p>(5) 市道台の沢長平線（その2）工事における一次下請け代金未払について 第三者が介在する施工体制改善をどのように監督指導したのか</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>(1) 積極的疫学調査について</p>	9	秋山善治郎

3	<p>施設管理者責任論を改め行政責任での対応が求められるがどのように考えているのか</p> <p>(2) PCR検査体制について いつでも、誰でもPCR検査を利用できる仕組みにはしないのか</p> <p>(3) 感染症拡大防止策について 今後も周期的感染拡大が想定され、入院・保護施設の充実が求められる。その仕組みはどうなっているのか</p> <p>3 福島原発放射能汚染水について</p> <p>(1) 児童・生徒配布用のチラシについて 「純粋な子どもに嘘を教えるのか。」との指摘もあるチラシをどう扱うのか</p> <p>(2) 「教えから学び」を進めている市教委の対応策について ALPS処理水についての認識と授業展開について示せ</p>	9	秋山善治郎
無 所 属			
4	<p>◎一問一答</p> <p>1 気仙沼市債権管理条例について 管理条例第16条2に、「市長は、前項の規定により非強制徴収債権を放棄したときは、これを議会に報告しなければならない。」とあります。市税等の強制徴収公債権は条例になく報告不要ですが、その理由を尋ねます。そして条例を改正し、すべての債権放棄を議会に報告する考えはありませんか</p> <p>2 本市の債権放棄について</p> <p>(1) 令和2年度に市税で約8,998万円、強制徴収公債権合計で約3,346万円が欠損として計上されています。これらの債権を放棄する事由と決定の経緯を尋ねます</p> <p>(2) 令和2年度の債権欠損額、つまり債権放棄された金額は合計で約1億3,922万円でした。震災前10年間で震災後10年間の債権欠損額合計を尋ねます</p> <p>3 本市の債権滞納繰越について 令和2年度の滞納繰越額合計は約14億5,118万円、収入率が90.1%です。繰越額の多い債権と、収入率の低い債権について尋ねます</p> <p>(1) 市税ですが、繰越額約4億386万円、収入率93.2%</p>	17	熊谷雅裕

4	<p>です。これを当局はどのように考えているのか、そして対策をどのように講ずるかを尋ねます</p> <p>(2) 国民健康保険税ですが、繰越額約4億7,340万円、収入率71.2%です。このうち前年からの滞納繰越額は3億9,257万円、収入率20.0%です。ここまで滞納が増えた原因と、今後の対策を尋ねます</p> <p>(3) 災害援護資金貸付償還金の繰越額は約3,653万円ですが、現年分収入率84.2%滞納繰越分収入率9.4%と、滞納が増えるきざしがあります。総額が20億円を超える貸付です。これからの対策を尋ねます</p> <p>(4) 学校給食費の滞納繰越額が約1,118万円あります。滞納繰越分が1,102万円で収入率が3.3%です。ここまで滞納が増えた原因と今後の対策を尋ねます</p> <p>4 口座振替推進キャンペーンについて 口座振替推進キャンペーン第1回が令和3年10月1日から12月30日まで行われ、現在第2回が1月4日から3月31日の間行われています。AグループとBグループに分けての募集ですが、その意味・目的と、1回目の募集結果を尋ねます</p>	17	熊谷雅裕
2. 未 来		2名	5件
5	<p>◎一問一答</p> <p>1 過去の一般質問から改めて確認が必要な事項について</p> <p>(1) 第113回市議会定例会一般質問において、「障害者差別解消法の施行から4年経過した本市の取り組みについて」として、「法第15条（啓発活動）について」の再質問の際に、「委託契約または指定管理の契約の条件として、合理的配慮の提供に努めることの文言を盛り込んで如何か。」、という提案に対し、「関係課と話し合いをしながら、実現に向け担当課としても努力していきます。」と答弁がありました。</p> <p>① あれから1年半、どのような話し合いがされたのか、委託契約または指定管理の契約に合理的配慮を盛り込んだ契約はあるのか、さらに、今後の取り組みについて伺います</p> <p>② この合理的配慮については、市職員が共通の認識を得るためにも勉強会等が必要と考えますが、所見を伺います</p> <p>(2) 「法第17条（障害者差別解消支援地域協議会）に</p>	8	菊田篤

5	<p>ついて」、「地域全体で話し合う仕組みの『障害者差別解消支援地域協議会』を設置すべき。」と提案した際、「市の自立支援協議会の権利擁護部会を位置づけたいが、提言のとおり構成の中で法曹分野の委員を加えることも検討し、幅広く意見をいただける場を考えていきたい。」と答弁がありました</p> <p>① これまでどのような検討がされたのか、法曹分野の委員を加えたのか、さらに、今後の取り組みについて伺います</p> <p>② 私は、地域全体として、差別の解消に向けた主体的な取り組みが行われることをねらいとする「障害者差別解消支援地域協議会」を設置すべきと改めて提案いたしますが、所見を伺います</p> <p>(3) 同じく第113回市議会定例会において「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所開設について」の「避難所開設運営マニュアル『新型コロナウイルス等感染症対策編』について」で、「避難所へのペットの同行避難について、ルールを定め、たとえば対応可能な避難所を事前に示しておくべき。」と提案した際、「ペット同行の対応が可能な避難所については、避難所の状況に応じ、その可否と可能な対応内容を検討します。なお、一般のペットは屋外を原則とし、盲導犬や介助犬などは、飼い主の方と一緒に屋内避難できるようにします。」と答弁がありました</p> <p>① 早期に整備する必要があると考えますが、現在の検討状況を伺います</p> <p>② また、盲導犬や介助犬などを加えた避難所訓練も必要と考えますが、所見を伺います</p> <p>(4) 第119回市議会定例会の一般質問で、「圃場整備地内にある用水路、排水路、農道等の農業用施設等が被災した場合、誰が直すのか。」という趣旨の質問をしたところ、「圃場整備地内については、受益者（農家）でお願いしたい。」旨の答弁がありました。農道については、一般車両も通行するので受益者は必ずしも農家だけとは限らないと考えます。改めて復興事業の圃場整備地内の農道が被災した場合の整備について伺います</p> <p>2 より良い学校環境の整備について</p> <p>(1) 現在、市内4校がコミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を設置しておりますが、その成果と課題、今後の推進について伺います</p> <p>(2) 昨年11月の地方紙に「白石一小の防球ネットの木製支柱が折れて6年生男児2人が死傷した事故</p>	8	菊田 篤
---	--	---	------

5	<p>で、白石市教委は、2022年度に市内の各校に学校安全委員会を設置する再発防止策を発表した。」旨の記事がありました。この事故は昨年4月のことで、翌月には、文科省から全国の教育委員会に学校設備を総点検するよう通知が出されましたが、次の点について伺います</p> <p>① 本市の点検状況について。誰が点検をしたのか、危険な設備はあったのか。学校名、件数、及びその対応状況について伺います</p> <p>② 本市も白石市同様、「学校安全委員会」の設置と「施設等管理台帳」の適切な整備をすべきと提案しますが、所見を伺います</p> <p>(3) ウェブベルマークについて</p> <p>① ウェブベルマークを含むベルマーク運動の取り組みについて、本市の小中学校校別の過去3年間の取り組み状況について伺います</p> <p>② そのベルマーク運動の内、ウェブベルマークの取り組み状況の件数について伺います</p> <p>③ 教育委員会はウェブベルマークに、まだ取り組んでいない学校等へ周知するとともに、小中学校で運動に参加すべきと提案しますが、所見を伺います</p> <p>④ 階上地域まちづくり振興協議会においては、地域住民にもウェブベルマークの取り組みに参画いただけるよう、チラシや広報等で周知する取り組みを始めました。このように地域全体で取り組める体制も必要と考えますが、所見を伺います</p>	8	菊田 篤
6	<p>◎一問一答</p> <p>1 震災11年に向けた復興と防災の課題について</p> <p>(1) 気仙沼市魚市場背後地の防潮堤にある陸閘閉鎖について、10月上旬を目途に運用開始の予定という答弁でしたが、時間差閉鎖を含めてその後の状況を説明してください。また、1月のトンガ沖の火山噴火に伴う津波注意報によって、県が管理する朝日町の陸閘が閉鎖されましたが、市民に対して事前に運用開始のPRが不足していませんでしたか</p> <p>(2) 市管理の防潮堤に導入したフラップゲート式の陸閘について、視察スポットを用意するなど、その効果を市としても積極的にPRすることで、震災の教訓を伝えるとともに、地元鉄工業界を活性化していくことが期待されます。市としての取り組み、支援策の可能性を伺います</p>	1	今川 悟

6	<p>(3) 災害危険区域内で再建した事業所の津波避難に対する現状調査について、令和3年度のできるだけ早い時期に実施するとの答弁がありましたが、その後の対応を説明してください。また、平成27年に東京大学と契約締結した震災犠牲者の行動分析に関する共同研究について、研究結果と公表時期を説明してください</p> <p>(4) 災害危険区域内で市が買い上げた移転元地について、復興が落ち着いた段階で売却を積極的に進めることにしていましたが、今後の対応について説明を求めます。また、譲渡及び一時貸付について、申請状況、利用方法や分布傾向を伺います</p> <p>2 面瀬公民館の新築について</p> <p>(1) 2月7日に大島地区振興協議会等が大島公民館の建設を要望した際、現施設が手狭な面瀬公民館を優先する考えを伝えたと新聞報道にありました。面瀬公民館建設のスケジュールについて、改めて市の考えを伺います</p> <p>(2) 今後の公民館の建て替えと多機能化、まちづくりセンター化に関する市全体の考えを伺います</p> <p>3 超少子化時代の政策について</p> <p>(1) 民間幼稚園の認定こども園化に合わせて、令和5年3月で岩月保育所、令和6年3月で松岩保育所を閉所する市の考えが明らかになりました。一方、こども園化は1年遅れて令和6年4月になるとの報告もありました。市として、この影響をどのように捉えていますか</p> <p>(2) 気仙沼市就学前児童の教育・保育施設連絡会議は「官民一体となって子育て支援を高めていく場として会議の在り方を研究する」と1年前に答弁していますが、研究成果と令和3年度の開催状況を説明してください</p> <p>(3) 児童福祉等再編整備計画の見直しについては、事業者と意見交換を重ねながら判断するとの考えが示されていましたが、その後の状況を伺います。この計画で令和5年度までに検討するとしていた新月保育所と階上保育所の移転整備、月立保育所と波路上保育所の閉所、そして唐桑保育所の認定こども園化について検討状況と見通しを示してください</p> <p>(4) 小・中学校の35人学級化を本市が独自に進めることに難色を示してきましたが、栗原市では25人学級化に取り組み始めました。改めて市の考えを伺</p>	1	今川 悟
---	--	---	------

6	います (5) 令和3年の年間出生数、合計特殊出生率に対して市の所感を伺います	1	今 川 悟
---	--	---	-------